

日本公民館学会
2011年度7月集会のご案内

「震災後」時代における公民館の課題と可能性

趣旨

3.11東日本大震災は、津波による被害の甚大さに加えて複数の原子炉の同時メルトダウンという未曾有の危機の発生により、世界的規模の多面的な影響を与えています。諸個人、家族、地域さらには全国的レベルでの復興・再生過程にどれだけの年月を要するかは予測できませんが、それが日本社会に大きな転換、おそらく65年間継続した「戦後」から「震災後」時代への歴史的転換ともいべき変化を伴うことは間違いないでしょう。

この転換を私たちの「未来の存続 a viable future」(第6回国際成人教育会議)につなげるためには、この国における私たちの生産・消費・居住のありかたを根本的に問い直しつつ、国家、市場、市民社会、地域社会の相互関係を組み直していく長期的な社会運動と学習過程が不可欠であり、当然、そこでの公民館の役割が改めて問われることになるでしょう。

今回の7月集会では、そのような課題への学会としての取り組みの第一歩として、被災地としての飯館村と三陸町における地域社会と公民館の現状およびその再生に向けた活動に関わる報告、さらに「震災後」社会における公民館の役割、その可能性と方向性を示唆する報告を基に、「震災後」時代における公民館の課題と可能性について参加者全員で議論を深めていきます。

報告および報告者

- * 「飯館村からの震災後の報告」
系長浩司(日本大学教授)
- * 「大船渡市三陸町における学生・住民による仮設公民館づくり」
杉本洋文(東海大学教授)
- * 「震災後の復興に向け公民館に期待される活動」
浅野秀重(金沢大学教授・学会理事)
- * 「岡山市における公民館制度改編の現状—地方自治体防災計画の展開と公民館再編を視野に入れて—」
内田光俊(岡山市教育委員会・学会理事)

日時 2011年7月16日(土) 午後1時~5時

会場 東京外国語大学 留学生日本語教育センター棟
1F サクラホール ※裏面に会場案内がございます。

集会参加費 2,000円(学生1,000円) 資料代含む。

・懇親会は5時半から行います。

懇親会参加費は別途ご案内いたします。

【会員の皆様へのお願い】

ご参加予定の方は、同封の出欠ハガキを、7月4日(月)必着でご郵送ください。会場・資料の適正な準備のため、事前のお申し込み手続きに、ご協力をお願い申し上げます。